

人材育成の取組方針

この「目指すべき職員の姿」をわかりやすく表現した「目指す人材像（具体的な優れた行動）」は、平成22年度にコンピテンシー[※]の考え方を取り入れ、構築されました。その後見直しを経て、8つの項目名（行動名）に整理され、具体的な行動内容とあわせて示されています。

※常に高い成果をあげている人に見られる特徴的な行動

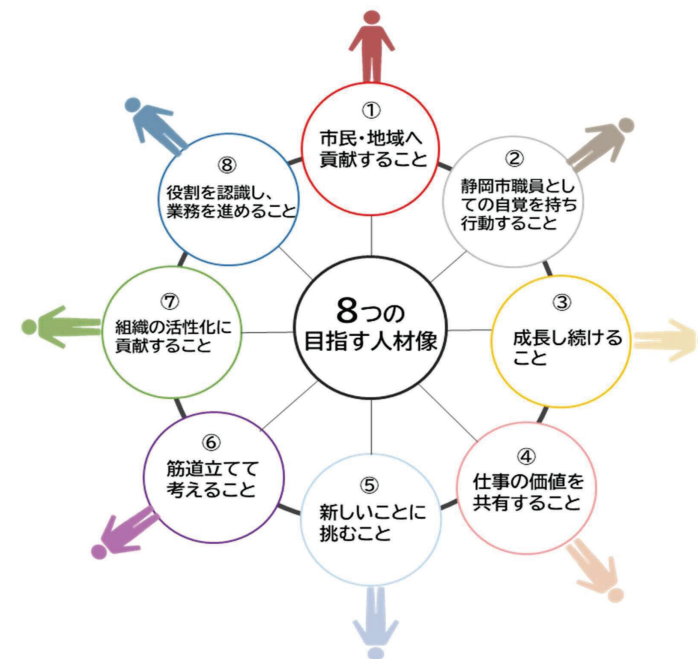
静岡市新人材育成ビジョン（改訂版）

2023 ▶ 2026

令和5年3月
静岡市



8つの目指す人材像（行動名）



【人材像ごとの具体的な行動内容は、巻末資料30ページに記載】

※目指す人材像における「市民」とは、市内に居住、通勤及び通学する個人並びに市内において事業や活動を行う個人、団体などを言います。

「目指すべき職員の姿」は着実に職員の中に浸透し、「8つの目指す人材像（行動名）」も人事評価の行動評価項目へ位置づけられたことで、職員の意識も高まっています。

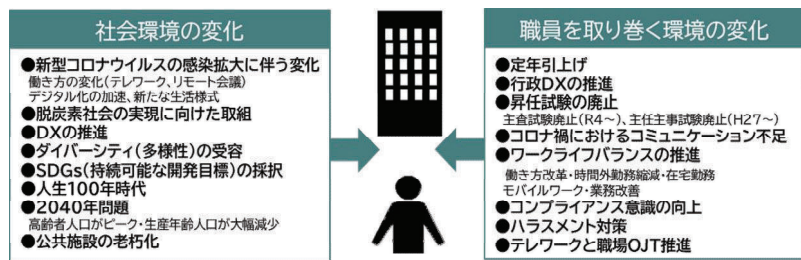
「目指すべき職員の姿」や「8つの目指す人材像（行動名）」は、**職員の意識が変わることなく、次代の職員へと受け継がれていくことが大切です。**

3 人材育成ビジョン見直しにあたって

(1) 職員を取り巻く状況

① 職員を取り巻く環境の変化

近年、社会環境は大きく変化しています。数年前には想像もしなかった出来事が世界中を駆け巡るなど、将来を予測することはますます困難な状況です。この変化の影響を受け、行政需要も刻々と変わり続けています。このため、社会構成員の一員である本市職員を取り巻く環境も大きく変化していると言えます。

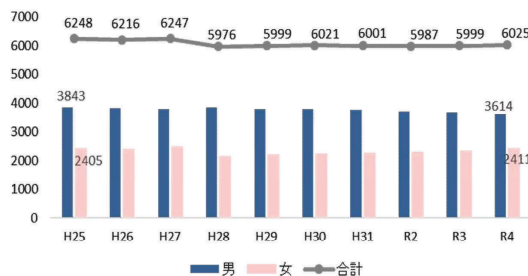


② 10年間の職員構造の変化

ア 職員数の減少

本市の全職員数(小中学校勤務の教職員を除く)は、平成25年度には6,248人でしたが、令和4年度には6,025人となっており、平成28年度の静岡市立静岡病院の地方独立行政法人化や静岡地域消防広域化による組織改編などにより、10年間で3.5%減少しています。

【図1】10年間の職員数の推移(人) (※小中学校勤務の教職員を除く)



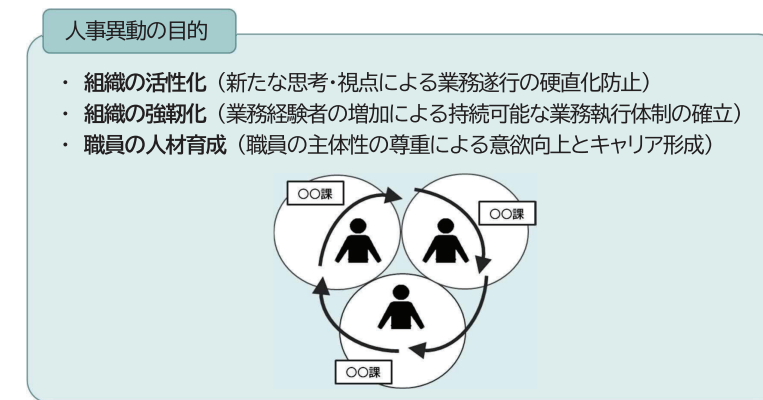
10年間で
3.5%減

(2) 人事制度

① 人事異動

行政の高度化・専門化が進む中、限られた財源、人材で、安定的かつ継続的な行政運営を行い、スピード感を持って「第4次静岡市総合計画」を進め、複雑多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応するためには、「人事異動」による全体最適・適材適所の配置により、職員が自己の能力を最大限に発揮し組織力を向上することが不可欠です。

人事異動の一般的な3つの目的を達成するため、様々な分野の業務を経験させることによる「幅広い知識・視野を有するゼネラリストの育成」と、適性に応じた長期的配置による「高い専門性を有するスペシャリストの育成」をバランスよく進めています。



② 昇任制度

能力及び勤務実績に基づく人事管理を徹底する必要があることから、行動評価と業績評価を組み合わせた人事評価等に基づき、能力本位による昇任選考を実施しています。将来を見据え、効率的で活力のある組織を維持していくために、能力と実績に基づく積極的な登用をより一層進め、職員のモチベーション向上を図っています。

昇任選考試験については、役割が大きく異なる階層への昇任時に実施することが、より適切であるため、求められる能力の検証と若手職員の登用を目的に実施しています。

③ 女性登用

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が施行され、女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進することが求められる中、本市においても女性職員の割合が増加傾向にあり、今後の組織運営上、女性職員の登用は必要不可欠であるため、特定の業務にとらわれることなく積極的に職種を拡大するとともに、男女の性別にかかわらず、意欲と能力のある職員の登用を進めています。



函館市地域交流まちづくりセンター建物

～100年物語～

函館市地域交流まちづくりセンターの建物は、1923(大正12)年に丸井今井呉服店函館支店として建てられ、2023(令和5)年に100年を迎えます。1969(昭和44)年の百貨店移転にもない函館市分庁舎として使用が開始され、2002(平成14)年まで続きました。その後、大規模改修を経て、2007(平成19)年に「函館市地域交流まちづくりセンター」としてオープンし現在に至ります。100年にわたって十字街の中心としてまちの賑わいを支えてきたこの建物の歴史を振り返っていきましょう。



1923 ▶ 1933

丸井今井呉服店函館支店の誕生

函館市地域交流まちづくりセンターの建物は1923(大正12)年に丸井今井呉服店函館支店として建てられました。函館は三方を海に囲まれ、かつ強風の日が多いことが災いして大火が多かったため、耐震・耐火性に優れた鉄筋コンクリート構造により、当初は3階建て建設されました。

1930(昭和5)年には営業面積を拡大する必要から既存部分に4階を増築、さらに隣接して5階が増築されました。



1931(昭和6)年当時の丸井今井呉服店 (函館市中央図書館所蔵)

1934 ▶ 1969

函館大火から本町へ移転するまで

1934(昭和9)年3月、函館大火により建物は焼失してしまいます。これを受けて、各階の床を補強するために柱と柱を対角線に結ぶ交差梁の追加などの改修が施され、同年11月に早くも営業再開を果たします。

1969(昭和44)年、丸井今井百貨店函館支店が本町へ移転するまで、当時の十字街の中心地として栄えました。



函館大火直後の丸井今井呉服店周辺 (函館市中央図書館所蔵)

1934 (昭和9)

1923 (大正12)



1970 ▶ 2007

分庁舎時代から大規模改修へ

1970(昭和45)年からは、当時の水道局・交通局が入居する函館市分庁舎としての使用を開始します。

1989(平成元)年には、その特徴的な外観から函館市都市景観条例に基づく「景観形成指定建築物等」に指定されました。

しかし、建物の老朽化による安全性の問題から2002(平成14)年、水道局等は移転し建物は一時閉鎖。2005(平成17)年から2007(平成19)年にかけて「外観の保全」と「安全性の確保」の両立を図るための改修を行いました。

外観の意匠は、創建時の3階建に忠実に復元することを基本とし、東北以北最古のエレベーターを保存するため、塔屋部分を5階建のまま残しています。



函館市末広町分庁舎当時の外観

1970 (昭和45)



白羅なの!?水曜マルシェ

2007 ▶ To the Future ~未来へ~

函館市地域交流まちづくりセンターとして市民交流の場へ

2007(平成19)年4月1日、市民交流やNPOなど市民活動の支援、観光案内をはじめ地域情報の発信を通じ、地域のコミュニケーションやまちづくり活動を推進するための拠点施設として「函館市地域交流まちづくりセンター」がオープンしました。函館市内や道南地域の市民活動団体の活動スペースとしてだけでなく、全国各地から研修旅行や視察の受け入れを行うなど幅広くご利用いただいています。

また、毎回大好評をいただいている「水曜マルシェ」や「NPOまつり」、市民と移住者が交流する「まちセン茶論」の開催等、豊かな市民社会の実現に寄与することを目的に、今後も市民交流の場として親しまれる施設づくりを目指してまいります。



函館市地域交流まちづくりセンター外観

2023 (令和5)

2007 (平成19)



まちセン茶論



NPOまつり



一緒に応援しませんか？
市民活動団体のご紹介

会員募集中！
一緒に活動してみたい方は
お気軽に各団体
にお問い合わせください。

活動団体
～ まちセンの運営をしています！～
NPO法人 NPOサポートはこだて

2006年にNPO法人を設立。現在、道南における中心的中間支援組織として活動しています。函館市地域交流まちづくりセンターがオープンした2007年4月1日より現在も、指定管理者として施設運営・NPO等市民活動支援・移住者支援・市や観光情報などを発信する活動の他、シーニックバイウェイ函館・大沼・噴火湾ルートの活動に参加したり、北の国災害サポートチーム幹事団体等を行ってきました。また、町会活性化支援、地域の関係機関との連携による防災ネットワークづくりや啓蒙活動、SDGsの普及啓発も行っています。



毎年行っている十字街商盛会との花植え

活動にあたっては、人口推移等各種データを分析することで課題を探り、町会活動や防災活動に今後必要とされること等を踏まえた提言やアドバイスを心掛けています。

市内外で活動している団体や個人とのネットワークも多く、道南の活動情報の受信・発信の拠点、市民活動等の各種相談対応もしています。まちづくり等に関する研修も積極的に行っていますので、ぜひご参加ください。

●NPO法人NPOサポートはこだて 理事長/山内 一男 設立/2006年 会員数/14名
入団条件/特になし 年会費/3,000円
http://www.npo-hakodate.net/ kisoamarufuji@gmail.com (事務局長 丸藤)

団体設立のきっかけや
活動内容などの詳細はまちセンHPで
<https://hakomachi.com>



市民活動団体のみなさまへ

市民活動団体のみなさんに役立つ情報をお知らせしてまいります

3階印刷室をご利用ください

■印刷機使用料金 (※用紙代別)
①製版代/1枚 100円
②印刷枚数/10枚まで 10円
(以後10枚ごとに10円加算となります)

※①製版代+②印刷枚数の代金が必要です。
印刷用紙と小銭のご用意をお願いします。

■コピー料金

①白黒/A4・B4・A3 1枚 10円
②カラー/A4・B4 1枚 50円
③カラー/A3 1枚 100円



横断幕・ポスタープリント承ります

■横断幕 (610mm×1.5m)
1枚 2,400円～
■ポスター-A2版 (420mm×594mm)
1枚 1,200円～

※横断幕は文字原稿を、
ポスター等はPDFデータ形式にてお持ちください。
※お引渡しまで5日程度の日数をいただいております。
※詳しくはお問合せください。

コーポラ INFO & TOPICS

※毎週水曜開催

「水曜マルシェ」が戻ってきました！

毎週水曜日にまちづくりセンター1階で開催していた「水曜マルシェ」を約3年ぶりに再開いたしました！コロナ禍前と比べて店舗数を減らしての開催ですが、少しずつ以前の賑わいが戻ってきています。お野菜・アクセサリー・布小物など、バラエティに富んだラインナップになっておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！



▲お話ししながら
直接購入することができます！

※毎月1回開催

今年度最初の「まちセン茶論」を開催しました！

函館市への移住相談窓口「移住サポートセンター」主催の『まちセン茶論』を5月9日に開催しました。

今年度初めてとなる今回は7名の方が参加していただき、自己紹介を交えながら函館での生活をざっくばらんにお話ししたり、移住を検討されている方のお悩みを一緒に考えるなど中身の濃い時間となりました。

毎月1回開催していますので、ぜひお気軽にご参加ください！



▲「はこだて暮らし」をテーマに
話が盛り上がりました！

2023年5月20日(土)

2019年秋以来3年ぶりの「バル街」は大盛況！

函館西部地区バル街が3年ぶりに開催され、当日は多くの人で賑わいました。

33回目となる今回は57店舗が参加し、それぞれ趣向を凝らしたお酒やピンチョスを楽しむことができました。

まちづくりセンター内には事務局「バル街i」が設置されたほか、4つの飲食店が出店し、多くのお客様が訪れました。



▲大泉 潤市長が
バル街の開会宣言を行いました！

「はこまち通信コーポラ」のコーポラとは？

教会などの屋根上部に取り付けられた半球型の構造物を指します。
1923(大正12)年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし2007年にオープンした地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける「コーポラ」を、広報誌名でも使用しています。





CPA
静岡市 × 常葉大学附属橘高等学校 × CPA

フワッショッももっぺるまよ！
ぜひ遊びに来てね！

令和5年 **8/24 (木)**
16:00 ~ 20:00

会場 《施設外広場》
静岡市ふれあい健康増進館 ゆらら
〒420-0905 静岡県静岡市葵区南沼上1379-1

駐車場 約50台
お帰りの車をこまめにチェックしてあります

アクセス方法などは
はこちらから

※ 荒天・雨天の場合は中止予定（顺延なし）



投票時間
8月24日 16時~19時

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11 12

第1回
あなたの「旨い！」が
1票になる

祭り飯 コンテスト 2023

投票所 「やくら」んどこ
投票権 ひとり1票（大人も子どももOK）
参加方法 買って食べて投票するだけ！

キャリア教育
特別企画
常葉橋高校生と
各店舗オーナーの
共同開発メニュー！

